

平成28年度第1回日野市福祉有償運送運営協議会 会議録

<p>日 時 場 所 出席委員 (敬称略) 欠席委員 (敬称略) 会議に出席した 事務局職員  会議に出席した 有償運送団体  傍 聴 者</p>	<p>平成28年11月22日(火)午前9時30分から11時00分 日野市役所 5階 504会議室 藤田博文、伊羅胡悦子、伊藤勲、伊藤祥子、中澤洋、一ノ瀬一雄、菱沼勝、五十嵐平和、戸崎肇、小川良樹、林幹高、赤久保洋司 なし 原島由美子(福祉政策課長)、原島敏行(福祉政策課副主幹)、町田清敏(福祉政策課主任) NPO 法人福祉カフェテリア、社会福祉法人日野市社会福祉協議会、NPO 法人サポート日野、社会福祉法人幹福社会、NPO 法人自立生活センター・昭島 なし</p>
<p>会議次第</p>	<p>1 開会 2 日野市福祉有償運送運営協議会委員の委嘱について 3 会長及び副会長の選出 4 報告 平成27年度福祉有償運送登録団体の実施状況について 5 協議 登録団体の更新申請について ○福祉カフェテリア ○日野市社会福祉協議会 ○サポート日野 ○幹福社会 ○自立生活センター・昭島 6 その他</p>
<p>配布資料</p>	<p>【事前配布】 ・【資料①】 前回議事録 ・【資料②】 福祉有償運送運営協議会委員名簿 ・【資料③】 福祉有償運送登録団体実施状況（平成25年度～平成27年度） ・【資料④】 更新登録団体一覧 ・【資料⑤】 福祉有償運送登録団体基本項目一覧表 【当日配布資料】 ・平成28年度第1回日野市福祉有償運送運営協議会 次第 ・日野市福祉有償運送運営協議会設置要綱 【当日閲覧資料】 ・自家用旅客運送の更新登録申請書（案） （福祉カフェテリア、日野市社会福祉協議会、サポート日野、幹福社会、自立生活センター・昭島） 【資料差替え】 ・【資料②】【差替え】 福祉有償運送運営協議会委員名簿</p>

事務局	<p><u>1. 開 会</u></p> <p>本日は、お忙しいなかご参集いただき、誠にありがとうございます。これより平成28年度第1回日野市福祉有償運送運営協議会を開会いたします。</p> <p>本日は、「平成27年度福祉有償運送実施状況について」及び「登録団体の更新登録申請について」を予定しておりますので、更新5団体の関係者の方にも説明のため、ご出席いただいております。それでは、本日の配布資料につきまして確認をさせていただきます。</p>
事務局	<p>先日お送りさせていただきました資料の確認をさせていただきます。</p> <p>【資料①】「前回議事録」、【資料②】「福祉有償運送運営協議会委員名簿」、【資料③】「福祉有償運送登録団体実施状況（平成25年度～平成27年度）」、【資料④】「更新登録団体一覧」、【資料⑤】「福祉有償運送登録団体基本項目一覧」となっております。また、本日机の上に配布している資料は、「平成28年度第1回福祉有償運送運営協議会次第」、「日野市福祉有償運送運営協議会設置要綱」、【資料②】「福祉有償運送運営協議会委員名簿（差替え分）」です。こちらにおきましては先にお送りした資料②と差替えをお願いいたします。</p> <p>なお、大変申し訳ございませんが、【資料⑤】「福祉有償運送登録団体基本項目一覧」について1箇所訂正をお願いいたします。福祉カフェテリアの右側の欄（更新前の状況）の「8 損害賠償措置 自動車保険内容一覧表」の持込車輛8台を9台に訂正してください。お手元に不足している資料はございませんでしょうか。</p>
事務局	<p><u>2. 委員の委嘱</u></p> <p>本協議会は、「日野市福祉有償運送運営協議会設置要綱」に基づき設置されておりますが、平成28年6月30日をもって前期委員の任期が満了しております。このたび、平成28年7月1日からの2年間の任期で12名の方に委員を委嘱することになりました。</p> <p>順番にご紹介させていただきますので、一言ずつ簡単なご挨拶をいただきたいと思っております。</p> <p>（各委員挨拶）</p>
事務局	<p>また、委嘱状につきましては、本来であれば市長からお渡しするところですが、大変申し訳ありませんが、略式ということで予め机にお配りさせていただきました。御了承ください。</p> <p>日野市福祉有償運送運営協議会は、設置要綱第6条の規定により、委員の過半数の出席で議事を開くこととなっております。本日は12名の委員全員のご出席をいただいております。したがって、本協議会は成立いたしますので、ご報告申し上げます。</p>
事務局	<p><u>3. 会長及び副会長選任</u></p> <p>それでは、早速ですが次第に従いまして、会長を選出したいと思っておりますが、</p>

	<p>いかがいたしましょうか。</p> <p>(事務局一任の声)</p>
事務局	<p>それでは、会長には、前期会長の後任である、戸崎委員にお引き受けいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>(拍手)</p>
事務局	<p>それでは、戸崎委員よろしく申し上げます。次に、戸崎会長には副会長の指名をお願いいたします。</p>
会長	<p>前期に引き続き藤田委員をお願いしたいと思います。</p> <p>(拍手)</p>
事務局	<p>それでは、藤田委員よろしく申し上げます。協議に入る前に、戸崎会長と藤田副会長から就任にあたりご挨拶をお願いいたします。</p> <p>(会長・副会長の挨拶)</p>
事務局	<p>ここからは戸崎会長に議事の進行をお願いいたします。</p>
	<p><u>4. 報告</u></p>
会長	<p>それでは、次第に従い、「平成27年度福祉有償運送登録団体の実施状況について」事務局よりご説明申し上げます。</p>
事務局	<p>「資料③福祉有償運送登録団体実施状況」の実施状況についてですが、1枚目が登録団体5団体の集計になっております。2枚目以降が、各団体の実施状況でございます。登録団体は5団体で変更はありませんが、距離、輸送回数、運輸収入については、減少傾向であることが読み取れます。事故件数については、今回ございませんでした。</p>
会長	<p>本日は更新登録の協議がメインとなっておりますので、この資料をもって報告とさせていただきますが宜しいでしょうか。</p> <p>(委員了承)</p>
	<p><u>5. 協議</u></p>
会長	<p>続きまして、次第の5協議「登録団体の更新登録申請について」、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>「登録団体の更新登録申請について」ですが、5団体とも平成29年3月又は7月で登録の期限が切れます。</p> <p>それでは、事前に送付しております「資料⑤福祉有償運送登録団体基本項目一覧」をご覧ください。一覧表には主要項目を抜粋し、団体毎に右側が前回の更新時の状況、左側に更新内容が書かれています。</p> <p>変更の有無欄に「有」とある項目が、今回、更新の際変更する項目となっております。なお、福祉カフェテリアの運送対価以外の対価は変更となっておりますが昨年度すでに協議が整っております。また、5団体の申請書は、事前に提出頂いて事務局で確認しています。</p>
会長	<p>それでは、更新登録申請団体の5団体の方にご出席いただいておりますので、</p>

福祉カフェテリア	<p>それぞれ更新登録についてのご説明を順番にお願いします。ご質問、ご意見は1団体ごと説明のあとにお受けいたします。</p> <p>はじめに、NPO 法人福祉カフェテリアから説明をお願いします。なお、NPO 法人福祉カフェテリアの関係者である林委員には、本件、福祉カフェテリアの協議については外れていただきますのでご了承ください。</p> <p>変更がある項目のみ説明します。「旅客から収受する対価」の「運送対価以外の対価」はキャンセル料が400円、待機料は最初の10分は無料、11分以降10分毎に200円になりました。こちらは27年度の協議会で承認を頂いております。持込車両を提供している運転者の退職に伴い「持込車両」が9台から5台になりました。あと、「運転者」が20名から17名に減少しましたので、現在募集をしていますが中々見つからない状況です。「運送対象」の「登録会員数」が78人から54人に大幅に減少しました。理由としては、利用者の高齢化に伴い施設への入所や家族と同居するため転居されたり、車椅子対応が難しくなりストレッチャー利用になったことなどが考えられます。「損害賠償措置自動車保険内容一覧表」では持込車輛が9台から5台になりました。</p>
会長 委員	<p>ご質問やご意見はありますか。</p> <p>高齢化に伴い公共交通機関の利用困難者が増えている中で福祉有償サービスの利用者登録が減少している。先程の説明で気になったのは、福祉有償の担い手である運転手の確保が難しくなっていることや、車椅子対応のセダン型の需要が減りストレッチャー対応型の需要が増えているが車がないためニーズに対応できなくなっていることである。事業者側の自助努力だけでなくサポート体制の確立や公共交通サイドとの棲み分けが課題のように思われる。</p>
福祉カフェテリア	<p>利用者が減っている要因の1つに運転協力者の余裕がなくなっていることがあげられる。早朝夜間や休日の急な依頼があってもそれに対応できる状況ではない。運転協力者が減ってしまうのは1つには報酬の問題があり、比較的若い高齢者は条件の良い仕事を選ばれる。私たちの能力でこのことに対応することは難しい。また、収支状況が大変厳しいため、ストレッチャー対応型の車を持つと経費がかかってしまうので持てる状況ではない。</p>
会長 委員	<p>以上のことは、どの団体にも共通した課題だと思う。公的支援をするにしても財源が厳しい。安定供給体制を如何に確立していくかは長期的な課題として取組む必要がある。</p> <p>前回の運営協議会で待ち時間待機について話しがあったと思うが、現在どうなっているか話していただければと思います。</p>
福祉カフェテリア	<p>今年の4月～10月（9・10月待機なし）で大体1か月250件ぐらいの送迎に対し待機したのは2～5件ぐらいです。比率で言うと0.1～0.2%ぐらい。待機料収入は1か月で7000円ぐらいです。一番少ない人で200円、多い人は、都心で食事をするので待っていて欲しいと言われ3200円になった。通院の場合は通常1000円ぐらいです。</p> <p>キャンセル料は6・7月に1件ずつあり。自宅を訪問したところキャンセル</p>

委員	<p>された。そういうケースが多い方なのでキャンセル料を頂いた。</p> <p>前回、待機時間として大体3時間ぐらいとなったがそのことは分かっているということで宜しいでしょうか</p>
福祉カフェ テリア 会長	<p>はい。</p> <p>この内容で更新ということで宜しいでしょうか。</p> <p>(異議なしの声)</p>
会長 社会福祉協 議会	<p>続きまして、社会福祉法人日野市社会福祉協議会から説明をお願いします。</p> <p>更新前とほとんど変わりはない。「運送対象」の「登録会員数」が291人から290人に、それに伴って「態様の種類」の人数も変わっている。</p> <p>待機料はある時でも月に1件～2件程度で数百円ぐらい。基本的に市外は無料で、市内は最初の10分は無料その後10分ごとに200円が加算されます。</p> <p>キャンセル料は当日キャンセルされた場合は500円を貰っている。ドライバーを手配していることや車を確保しているためです。また、当日調子が悪くて行けなくなったことがキャンセルされる主な理由となっています。キャンセル料が発生するのは月に10件前後ぐらいです。</p>
会長 副会長	<p>ご質問やご意見はありますか。</p> <p>運送対象の内訳人数の合計と登録会員数があわない。重複されている方がいるのか。</p>
社会福祉協 議会	<p>その通りです。例えば、身体障害者手帳を持っていて介護保険の認定を受けている場合には、身体障害者のところと要介護認定者のところ両方カウントしています。</p>
副会長	<p>他の団体でも重複されている方はいるのか。いる場合には両方カウントされているのでしょうか。</p>
会長	<p>定義の問題ですので、更新申請の説明の際にカウントの仕方に違いがあればそこで説明をしてもらいたいと思います。人数は減少傾向ではないということですよ。</p>
社会福祉協 議会 委員	<p>横ばい状態です。</p> <p>要支援認定者が増えたのは今の説明と関連があるのでしょうか。</p>
社会福祉協 議会 会長	<p>要支援認定者はこの制度を利用される方が多いため若干であるが人数が増えている。</p> <p>更新内容はこの内容で宜しいでしょうか。</p> <p>(異議なしの声)</p>
会長 サポート日 野	<p>続きまして、NPO法人サポート日野から説明をお願いします。</p> <p>前回からの変更点は、「運転者」の第一種免許保持者が7名から8名に、「運送対象」は身体障害者が25名から23名、それに伴って「登録会員数」が26名から24名になりました。「自動車保険内容一覧表」では保険会社が1社変更となっています。</p>

	<p>通院と利用者の希望により待機はしているが、利用料金が時間と距離の併用制をとっているため特に待機としてカウントは行っていない。</p>
<p>会長 委員</p>	<p>ご質問やご意見はありますか。</p> <p>重度の身体障害者などには介護スタッフが同乗されていると思うが、運転者に特に要件はあるのか。</p>
<p>サポート日 野</p>	<p>ヘルパー1級を持っていないと駄目みたいな形ではやっていない。利用者はヘルパーを付けている方が多いので、運転手は利用者の介助を基本的にやらない。</p>
<p>会長</p>	<p>重度の身体障害者などを乗せて運転する場合に気を付けておくべき点を事前に運転手に伝えていないのか。</p>
<p>サポート日 野</p>	<p>新しい利用者の時は、その方がどういう障害を持っているか事前にお伝えしている。一人で利用される場合には、その方から直接話を聞いてその内容を運転手に伝えている。</p>
<p>会長</p>	<p>他にご質問やご意見はありますか。特になければ、更新内容はこの内容で宜しいでしょうか。</p> <p>(異議なしの声)</p>
<p>会長 幹福社会</p>	<p>続きまして、社会福祉法人幹福社会から説明をお願いします。</p> <p>前回からの変更点は、「運転者」が辞退や引越などで31名から25名に減少しました。また、運行管理責任者が変更となっています。変更点は以上です。</p> <p>利用料金が時間と距離の併用制をとっているため待機料は徴収していない。介護待ちなどが月に1回か2回ぐらいで合計2時間となっています。キャンセル料金は0件です。</p>
<p>会長 委員 幹福社会</p>	<p>ご質問やご意見をお願いします。</p> <p>運転手が減少した理由は他の仕事に移られたからなのか。</p> <p>高齢者の方で辞められたのは4名で、配偶者の転勤に伴い引越するため辞められた方は2名です。</p>
<p>委員 幹福社会</p>	<p>運転手を確保するための対策は考えられているのか。</p> <p>声掛けはするのですが中々集まらないのが現状です。</p>
<p>会長 幹福社会</p>	<p>どういうやり方で募集をされているのですか。</p> <p>社会福祉協議会の広報誌に募集の記事を掲載したり、ヘルパー派遣をやっているので日々の会話の中で運転に興味を持っている方には声をかけている。</p>
<p>会長</p>	<p>そういったところをもう少し周知徹底できるようにしていく。また、福祉有償運送登録団体で協力してやっていかないと難しいと思う。他に何かありますか。特になければ、更新内容はこの内容で宜しいでしょうか。</p> <p>(異議なしの声)</p>
<p>会長 自立生活センター昭島 会長</p>	<p>続きまして、NPO法人自立生活センター・昭島から説明をお願いします。</p> <p>変更点のみ説明します。「運送対象」が3名から2名に減り、先日1名亡くなったので現在は1名となっています。あと、待機は0件でした。以上です。</p> <p>今の説明に対して何かご質問等がありますか。</p>

委員 自立生活センター昭島	昭島エリア以外の周辺地域をどのくらいカバーしているのか。 基本的には昭島市と日野市の登録会員の方です。
委員 自立生活センター昭島	昭島市の登録会員は何人ぐらいいますか。 現在72名います。
委員 自立生活センター昭島	日野市の登録会員が0名になったらどうするのか。 1名の方は多摩療護園に入所されている方で、うちのイベントにたまたま利用する程度で実際利用は全然ないが今後利用するかもしれないので登録会員として残している。本人が利用しない意思表示をしたら日野市福祉有償運送運営協議会に出席する必要はあるのだろうか。
会長	日野市で福祉有償運送をやる意思があるならば来ていただく必要があると思います。
事務局	その方の関係で登録をしないということであればこの協議会に出なくてもいいと思います。
委員	会員の搬送が無くなった場合は登録を続けるよりも、昭島市で福祉有償運送をやっているので区域の変更で縮小の届出を出していただければと思います。
副会長	登録を残しておけば日野市の方が福祉有償運送を利用できるという訳ではないですね。必然的に日野市で福祉有償運送が出来なくなるということですよ。
自立生活センター昭島	1名の方が利用しない意思表示を示したなら区域変更の届出を出して、日野市から撤退せざるをえない。
副会長	利用者の立場としては他市の登録団体も登録できるといいのだが制度上こうなってしまうのかなと思う。
会長	今の理解で宜しいでしょうか。先程の説明からご判断していただければと思います。この内容で更新ということでも宜しいでしょうか。 (異議なしの声)
会長	これで、5団体から申請がありました登録団体の更新登録申請についての協議が調いました。まだ時間がありますので、本日発言されていない方で何かありましたらご発言いただければと思います。
福祉カフェテリア	先程質問がありました「運送対象」の件ですが、障害と要介護認定を両方お持ちの方については、高齢者支援を優先でやっておりますので要介護認定者に計上してあります。
委員	登録されている5団体に聞きたい。タクシー料金の半額でやっていて儲かっていますか。
福祉カフェテリア	収入1に対して支出2となっており、年間数百万円の赤字となっている。赤字分は他の事業でカバーしています。
社会福祉協議会	去年は収支トントンでそれまではずっと100万円単位の赤字でした。ただ、去年は収支トントンと言っても、事務職員の人件費が他のところから出ている

サポート日野	のでそれを含めると赤字になります。
幹福社会	基本的には収支は赤字になっており他の事業で補っています。
自立生活センター昭島	赤字です。
委員	総事業では赤字にはならないが、単体でみるとおそらく赤字になっていると思います。
会長	私の会社の料金は登録団体に比べ3倍ぐらい高いため仕事が全然取れない。皆様の料金をもっと高くしてもらわないとやっていけない。今話を伺ってみると収支は赤字だとおっしゃる。運送業界はみんな赤字でやっている。法律の問題だからどうにもならない。
委員	既存のタクシー事業と福祉有償運送を線引きしどう棲み分けるのかは難しいところで、現状ではどうしようもない。これだけ努力しても赤字が出てしまう構造が問題であって、収益が持続的にある程度出ないと事業がやっていけない。地域の足をどう支えていくのか。これは国として行政としての問題である。
会長	毎年赤字が出ている状況でもあり、運賃体系が変えられない中で赤字部分を行政が助成してくれないとやっていけない。このままだと介護タクシーが無くなってしまう。
委員	地方自治体に助成できるだけの財源が果たしてあるのか。交通だけで解決していくのは難しい。福祉政策とミックスしてお金を作っていないといけない。この件で何かありますか。
委員	料金は法律で決まっており難しい。ただ、行政として何もやっていない訳ではなく、移送サービスで補助はないが、他の福祉サービスで補助は行っている。市内の施設の老朽化や事業の展開などで金がかかる状況でもある。このことは全体の中で検討していく課題だと思う。
委員	各団体の収支も大きな課題であるが、担い手の確保も各団体課題を抱えている。地域の中で移送サービスの担い手をどう確保していくか。これならば行政と連携して色々なことができると思う。
委員	全戸配布している市広報で運転者の協力を呼びかけることも考えられると思う。何か周知を考えているならご相談下さい。
会長	市広報で移送サービスの特集をやるなんてことも考えられる。
委員	他に何かありませんか。
会長	秋に福祉施設で行事があるが身体障害のため自力では行けない。土曜日や日曜日でも行事が開催される時は、福祉有償運送サービスを利用できると有り難い。
副会長	福祉有償運送を担われている以外の方にも考えていただきたい。特別のイベントがある時だけでも土・日曜日でも利用できるよう検討していただけたらと思います。
	登録団体と民間事業者では役割が違う。登録団体は車椅子や重度障害があっても安心して乗れるが予約が中々取れない。民間事業者は機動性がある。提供



委員	<p>するサービスと利用者が求めていることが合致すると利用者が増えていく。</p> <p>タクシー業界も運転手の人数が少なく、若い人が運転手として入ってこない。今後の課題かなと思う。</p>
会長	<p>利用者の方々からも今の状況についてご意見をいただけたらと思います。</p>
委員	<p>タクシーの運転手も高齢化している。これは緊急の課題だと思う。今日いい意見も頂いているので参考にしていきたい。</p>
会長	<p>垣根を越えてやっていかないと地域の交通体系が維持できない状況になってきている。</p>
委員	<p>一般のタクシーでも車椅子の方が乗れるので敢えてユニバーサルデザインのタクシーに乗ろうとする車椅子の方はいない。一般の方も乗りたがらない。一般の方と障害のある方が乗りやすいものでないと車は増えない。</p>
委員	<p>安心安全で移動できることは社会生活上最も重要なことであり国民生活の基盤をなしている。無理して運転しなくても公共交通や福祉有償など多様な選択肢からそれぞれのニーズに応じて輸送手段を確保できることは障害の有無に関わりなく国民的価値になってきている。国民の足をどう確保していくのか。</p>
会長	<p>一昨年あたりに交通政策基本法が制定され、公共交通を安定的に供給する体制を整えてきたが、理念をどう具現化していくのか。健康管理、高齢者の生存権、福祉予算とも関わってくるのでそうした先便になりうるような会議体にしていきたいと思います。</p>
委員	<p>高齢だが今だに健康ですのであまり福祉有償運送にご縁がない。自分なりに皆様の意見を聞いて勉強していきたいと思います。</p>
委員	<p>運送の対価がタクシー上限の1/2が一人歩きしているように思う。福祉有償は利益を目的としないことが大前提ですが、持続可能なものにしないといけないので、会員へ求めるのは厳しいという団体の声もあるかと思いますが、対価について実費の積み上げであるかどうか検証して妥当なものかどうか福祉有償運送運営協議会の場で議論することも大切なことだと思います。</p>
会長	<p>大切な点だと思いますので議論を深めていきたいと思います。</p>
委員	<p>日野市の福祉有償運送の利用がここ3年減ってきているが、運輸局全体で利用状況はどうなっていますか。</p>
委員	<p>担い手がいなかったため輸送を断らなくてはいけないケースが出ているとの話を他の福祉有償運送運営協議会で聞くことがある。福祉有償運送の利用が伸びているか一概に言えないが、旅客の運送事業全体としては利用が減ってきている。</p>
会長	<p>バスもタクシーも厳しい。トラックのドライバーがいなくなっている。安定輸送の前提として担い手を確保していくかが大事である。その他何かご意見はありますか。</p> <p>対価の問題、持続性の問題、この業界に担い手をどう根付かせていくのかは宿題とさせていただきます。</p>
	<p><u>6. その他</u></p>

事務局	<p>協議ありがとうございました。5団体へは協議が整った旨の通知を後日、差し上げます。それから、前後しますが、前回の議事録について、訂正などはございませんでしょうか。宜しいでしょうか。これを前回の議事録とさせていただきます。</p> <p>では、今回は、来年度を予定しています。内容は、平成28年度の実施状況の報告等と今お話しがあったことも時間があればしていきたいと思います。時期については、また、後日連絡調整をさせていただければと思います。</p> <p>先程、運送対象の内訳人数を重複してカウントしているため登録会員数と合計が合わなかった日野市社会福祉協議会については、これまでこれで登録申請をされているとのことなのでこれで構わないということで宜しいでしょうか。</p>
委員	<p>内訳人数を重複してカウントしている団体もありますので一概に駄目ということではありません。ただ、気をつけないといけないのは、実績報告はイロハニごとに報告してもらうことになっているので、重複する場合は重きをおくほうで計上してください。</p>
事務局	<p>登録申請は先程の通りで構わないが実績報告は合計が合うようお願いいたします。本日はどうもありがとうございました。</p>